

たんぽぽコ～ナ～



「ぼくのおじいちゃんのかお」

天野 祐吉 文
沼田 早苗 写真



おじいちゃんの豊かな表情をアップでとらえている一冊。その表情ひとつひとつにシンプルな文がついていて、写真を見ながら思わずクスッとなったり、ちょっと考えたり…。味わいたっぷりなおじいちゃんの表情が印象的。自分のおじいちゃんおばあちゃんのことをもっと知りたく、会いたくなるかもしれませんね。

「三びきのやぎのがらがらどん」

マーシャ・ブラウン 絵
せた ていじ 訳



体の大きさが、大・中・小と異なる三びきのやぎの名前はどれも「がらがらどん」。橋を渡り向こう側の山の草を食べに行こうとします。しかし橋の下には、「トロル」という気味の悪い化け物がいます。やぎに襲いかかろうとするトロルをそれぞれの知恵や勇気を使ってやり過ごし倒していくお話。「もう一回読んで！」と長年にわたり子ども達に大人気の一冊です。

「はちうえはぼくにまかせて」

ジーン・ジオン 作
マールゲット・グロイ・グレアム 絵
もり ひさし 訳



トミーは、夏休みの間、家を留守にする人たちの観葉植物を預かりお世話をするアルバイトをします。植物はどんどん伸びていき、家の中はまるでジャングルようになってしまいます。そこでトミーは、植物の本を読んで勉強し、お手入れにも工夫がたっぷり。前向きで行動力があり好きなことに打ち込めるトミーがカッコいい！最初は不満だったお父さんの心にも変化がみられます。